

「と」く産品
「ち」方の魅力
「ぎ」ガレヘル

「と」ちぎの産業は
「ち」密な県民が育んだ
「ぎ」術の集積

「と」りあえず
「ち」やうきん
するのには
「ぎ」ようせいかた

「と」にかく
「ち」からが出るぞ
とちぎの
「ぎ」ゆう乳

栃木県職員ガイド 2015

「と」びきりの笑顔で

「ち」域から愛される

「ぎ」ようせい人には!

「と」もす灯りに

なりたくて

「ち」えと力を

「ぎ」ゆつと出す!

「と」くちようがない?
「ち」名度が低い?
「ぎ」やく転するのは
これからだし!

「と」おくに日光連山
「ち」かくに那珂川の
清流まるで
「ぎ」ギャラリーの一作品

「と」くべつの
「ち」からを込めた
「ぎ」ようせい
やっています

「と」きめきを
「ち」からに変える
「ぎ」術力

いいとこ
つぎつぎ
“とちぎ”



知事メッセージ

私たちのふるさと“とちぎ”は、日光国立公園をはじめとする美しい自然、世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史と文化、豊富な温泉、おいしい水や多彩な食などの魅力にあふれ、住む人にも訪れる人にも「安らぎ」を与えてくれます。さらに、本県の恵まれた立地環境やバランス良く発展した産業、交通の便の良さなどによって、豊かな県民生活が営まれており、1人当たりの県民所得は全国8位と上位に位置しています。

私は、この素晴らしい“とちぎ”が、さらに人が輝き、人が集う、日本一「元気」な県となることを目指すとともに、一人でも多くの方に「住みたい」「行ってみたい」と思っただけの栃木県を実現したいと考えています。

そのためには、県が取り組むべき様々な課題に対して、常に県民の目線に立って知恵を絞り、工夫を凝らしながら具体的・効果的な政策を立案し、これを迅速かつ適切に実行していく、チャレンジ精神と使命感にあふれた職員の力が欠かせません。

この「栃木県職員ガイド」は、こうした“とちぎの未来”を切り開いていくために活躍している栃木県職員を紹介するとともに、栃木県職員の業務等を御理解いただくために作成したものです。私たちとともに“とちぎ”を「元気」にしたいという思いを持つ方々の参考にしていただければ幸いです。

平成26年12月

栃木県知事 福田 富一

CONTENTS

1	知事メッセージ／このガイドの内容
2	プロジェクト紹介／若手職員発案事業紹介
3	栃木県庁の組織／職員数・組織数
4	栃木県職員職種一覧
職員紹介	
5	Fresher's Voice 新人職員に聞きました
6	行政
7	薬剤師、農業、畜産、林業
8	総合土木、建築、電気
9	心理、保健師、獣医師、警察行政
10	インターンシップ／研修制度
11・12	Leader's Voice 幹部職員に聞きました
県庁の人事制度Q&A	
13	給与、勤務時間、休暇、子育て支援、福利厚生
14	配属先、異動、派遣、職員公募制、昇任
15	採用試験等の実施状況／問い合わせ先

このガイドの内容

このガイドは、県職員の業務内容など職業としての魅力と、給与などの処遇面を紹介するものです。

どんな仕事なのか
知りたい

給与や配属
などについて知りたい

さらに詳しく知りたい

プロジェクト紹介

観光立県とちぎづくりプロジェクト

栃木県庁では、職員の力を結集し、様々なプロジェクトが進められています。その中の一つを紹介します。



行政

蓼沼 正樹

Masaki Tatenuma

産業労働観光部 観光交流課
観光振興担当
平成16年度採用

異動経歴

- H16～ がんセンター 総務課
- H20～ 消防防災課 消防担当
- H21～ 消防防災課 危機管理・災害対策室
- H23～ 群馬県(観光物産課)へ派遣
- H25～ 現所属



「観光立県とちぎづくりプロジェクト」について教えてください。

皆さんは、観光地としての栃木県の魅力をご存じですか?県内各地に広がる山や川、温泉などの豊かな自然、農山村での農林業体験や生活体験、地域に根ざした特有の「食」の味わい、様々な製造業の工場をはじめ繊細な技術による手工芸などのものづくり、史跡や社寺などの歴史建造物や産業遺産を前にした歴史体験など、豊富な地域資源を活用して非日常を体験・体感できるのは、栃木県の大きな魅力です。

このプロジェクトは、こうした地域資源を有効活用することによって、国内外から多くのお客様に訪れていただき、また、より長く滞在していただくために、さまざまな事業に取り組むものです。例えば、県内観光地を周遊するモデルコースの提案や観光客のニーズを捉えた情報発信などの事業を戦略的に展開しています。



現在、どのような業務を担当しているのですか。

栃木県では、何度も本県を訪れて、ここにしかない体験を積み重ねて、その人ならではの本物の出会いを見つけて欲しいという思いから、「本物の出会い 栃木」をキャッチコピーに掲げています。私は、こうした栃木の「本物」を観光客の皆様へ伝えるために、県内外で開催されるイベントを企画、出展したり、旅行会社に栃木県の魅力や観光プランのアイデアを提案したり、メディアを活用して栃木県の魅力を国内外に発信するなどしています。



どんなところにやりがいを感じますか。

東京都内の駅や県内外の高速道路サービスエリアで自分が企画・運営した観光PRイベントに多くの方に来場していただき、無事に終わったときの達成感や感動は格別でした。また、お客様に「栃木県内観光したけど楽しかったよ」と声をかけてもらったことがうれしかったので、とても印象に残っています。もっともっと「栃木ファン」を増やしたいという思いが強くなりました。



今後の目標について教えてください。

県職員は、栃木県の未来を創っていくとともやりがいのある仕事です。私は、栃木県の魅力を伝えたい!栃木県を元気にしたい!という熱い思いをもって何事にも取り組むようにしています。

今後は、ホームページをより工夫して今まで以上に効果的に活用するなど、栃木の魅力発信にアイデアを加え、地元の方はもちろん国内外のたくさんの方にも栃木県を知ってもらい、栃木県を観光してもらえるよう、頑張ります!



若手職員
発案事業紹介

とちぎ女子's(ベリーズ)委員会。

栃木県庁には、とちぎの魅力を発信するため、若手女性職員が自ら発案し、取り組み始めたプロジェクトがあります。



「とちぎ女子's(ベリーズ)委員会。」について教えてください。

たくさん魅力があるにもかかわらず、知名度が低い栃木県の現状をなんとかしようとした若手女性職員14名のプロジェクトチームです。若い女性の自由で柔軟な発想を活かして、栃木県の魅力を全国に発信するための企画を検討しています。ちなみに「ベリーズ」とは、とちぎのいちごをイメージしています。



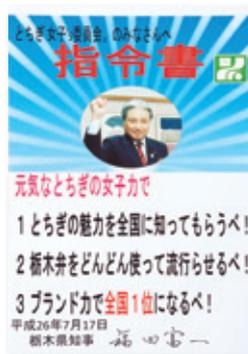
プロジェクトを発案したきっかけは?

世間でヒットしているノンアルコールビールやマッサージクッションの開発は、女性の視点から生み出されたものだとなりました。情報発信にも、女性の視点が鍵となります。情報のアンテナが高い若い女性職員がそれぞれ持つ自由なアイデアを融合させれば、栃木県にも新たな風を起こせるのではないかと思います。



苦労することも多い?

企画を立てることも、実施することも初めてだったため、何からスタートすればいいのかわからないことだらけでした。また、人前で話すことや、リーダーという立場が何よりも苦手なため、一番の苦労はその点かもしれません。でも、私ができない分、先輩やチームのみんなの協力があった、進めることができました。「仕事は一人でできるものじゃないな」と改めて気づきかけとなりました。今では、私たちが企画したことを、実際に実現していけることにドキドキ・ワクワクしています。



行政

根本 裕子

Yuko Nemoto

総合政策部 総合政策課
政策企画担当
平成20年度採用

異動経歴

- H20～ 鹿沼県税事務所 管理課
- H21～ 鹿沼県税事務所 収税課
- H23～ 総合政策課 政策調整・地方分権担当
- H26～ 現所属



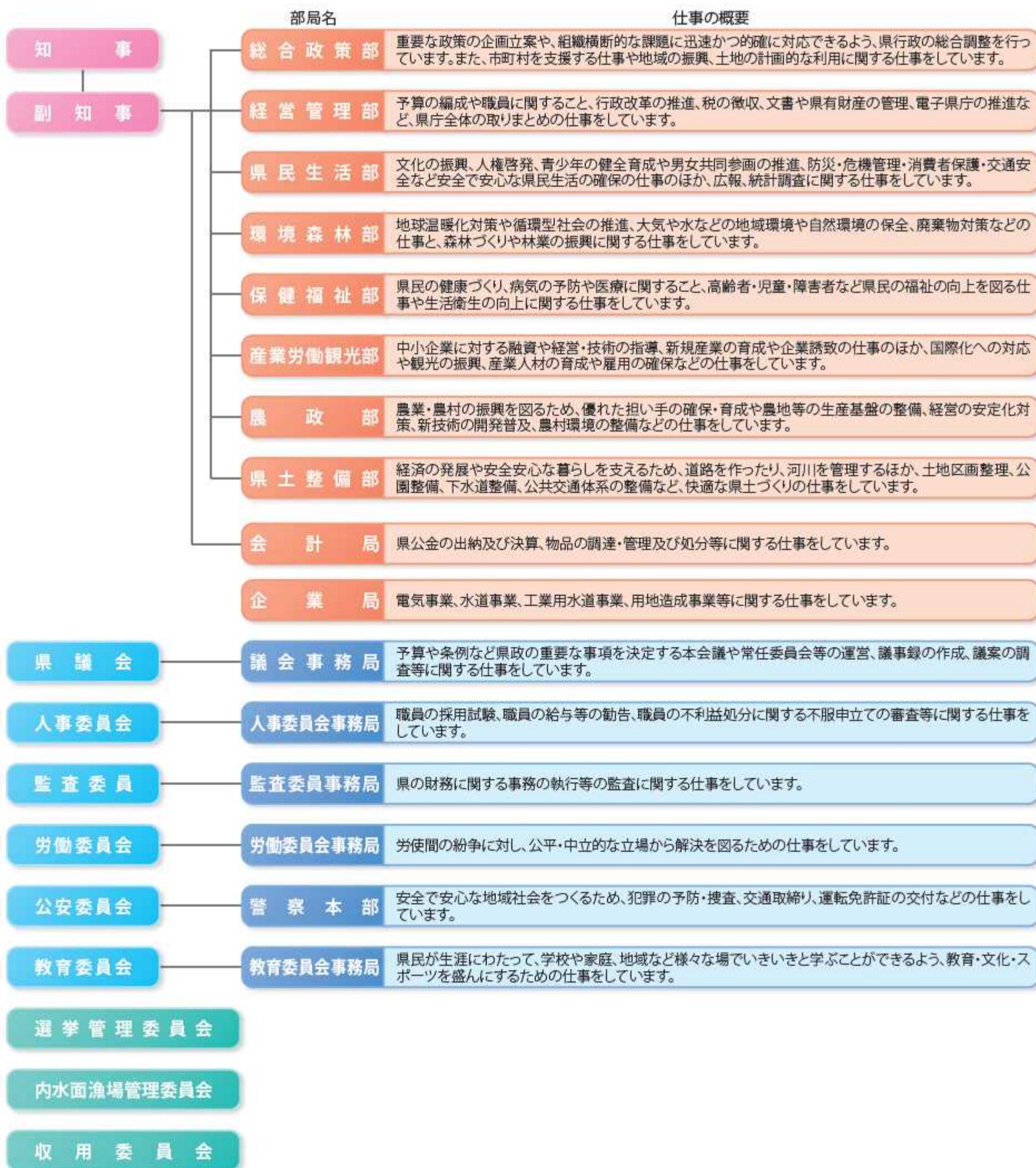
県職員を目指している方へ、メッセージをお願いします。

私が思う栃木県の魅力は、素敵なカフェとおいしい食がたくさんあるところです。栃木県の大好きなところをたくさん探してみてください!その数が多い人こそ、県職員にぴったりです。ぜひ、とちぎに恋して、とちぎに来(い)てくださいね!



部局ごとの仕事の内容をチェック!

栃木県庁の組織



職員数・組織数 (平成26年4月1日現在)

●職員数

一般行政部門……4,328人
警察部門……3,743人

教育部門……15,354人
公営企業部門……831人

●組織数(知事の事務部局)

本庁……8部1局63課室
出先機関……76

主な職種を掲載しています！
ここにはない職種もあります！



栃木県職員職種一覧

職種 (職員数 H26.4.1現在)	主な業務内容	主な勤務場所
P6c 掲載 行政 (2,683人)	各種施策の企画立案や事業の推進、予算編成・執行、庶務、県税の賦課徴収、公共事業用地の買収交渉、許認可、市町指導など、様々な分野で幅広い業務に従事します。	知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校
P7c 掲載 薬剤師 (96人)	医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究、県立病院での調剤業務を行います。	業務課、生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター、県立病院
化学 (104人)	産業廃棄物や地球温暖化などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。	環境森林政策課、地球温暖化対策課、環境保全課、廃棄物対策課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター
P7c 掲載 農業 (348人)	優れた農作物栽培技術の開発・普及や、バイオテクノロジーを駆使した米や野菜、果樹、花きなどの試験研究、農業施策の企画立案とその推進にあたります。	農政部各課、農業振興事務所、農業試験場、農業大学校
P7c 掲載 畜産 (66人)	畜産振興施策の企画立案や、生産技術指導、試験研究機関での技術研究のほか、堆肥等の資源循環システムづくりによる循環型社会形成の一翼を担っています。	畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター
P7c 掲載 林業 (192人)	森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの仕事をします。	環境森林政策課、自然環境課、林業振興課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター
P8c 掲載 総合土木 (52人)	平成24年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された者は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。	主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します
農業土木 (133人)	農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道、かんがい排水設備、農村下水道の建設、農村環境整備などに取り組んでいます。	農村振興課、農地整備課、農業振興事務所
土木 (453人)	道路・河川の整備や保全、街路・下水道事業の推進や、区画整理や開発行為などの都市計画上の指導・認可を行うなど、社会資本形成の一翼を担っています。	県土整備部各課、土木事務所、公園事務所、下水道管理事務所
P8c 掲載 建築 (75人)	市街地の再開発など都市機能の向上に関する施策や、県有施設建設の設計・施工・監理や宮繕業務、建築指導などに携わります。	建築課、住宅課、都市計画課、土木事務所
P8c 掲載 電気 (86人)	発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の宮繕業務を行います。	企業局電気課、水道課、水道事務所、今市発電管理事務所、産業技術センター、建築課、土木事務所
機械 (60人)	県有施設の設備の設計や宮繕などの維持管理のほか、試験研究機関での技術研究や産業技術専門校において技術者の育成などを行います。	建築課、計量検定所、産業技術センター、産業技術専門校
P9c 掲載 心理 (47人)	児童相談所、福祉施設などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。	児童相談所、精神保健福祉センター、とちぎリハビリテーションセンター
水産 (15人)	水産振興のための企画立案や、養殖生産技術の研究・開発、良好な水域環境及び生態系の保全技術確立のための研究などを行います。	生産振興課、水産試験場
P9c 掲載 保健師 (121人)	地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と身体を守る仕事です。	医療政策課、健康増進課、健康福祉センター、衛生福祉大学校、県立病院
臨床検査技師 (58人)	病院で臨床検査に従事するほか、健康福祉センターや研究機関において、水質検査や食品検査など公衆衛生に関する検査を行います。	県立病院、健康福祉センター、保健環境センター
理学療法士 (19人)	障害のある人に運動療法や物理療法、作業療法を通したリハビリテーションを行います。さらに、福祉機器の使用訓練や住宅改造指導などにも従事します。	とちぎリハビリテーションセンター、がんセンター
作業療法士 (19人)		とちぎリハビリテーションセンター、岡本台病院
管理栄養士 (20人)	病院における患者の栄養管理等のほか、健康福祉センター等で、県民の生活習慣病予防や健康増進のための指導、給食施設への栄養管理の指導などを行います。	県立病院、健康福祉センター
栄養士 (県立学校勤務7人)	献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校では、子どもたちの成長をサポートします。 ※小中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。	特別支援学校、定時制高校
栄養士 (小・中学校勤務171人)		市町立小・中学校、学校給食センター
司書 (10人)	図書館において、各種図書館資料の選定、収集、分類、貸出しや読書案内、相談等の業務に従事し、利用者のニーズに対応したサービスを提供しています。	県立図書館
保育士 (23人)	心身障害児総合通園センターにおける通園児の保育や、児童相談所での児童の生活援助、学習・体育指導などに従事します。	とちぎリハビリテーションセンター、児童相談所、那須学園
獣医師 (136人)	家畜伝染病対策をはじめとした家畜の保健衛生に関する防疫・試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。	生活衛生課、畜産振興課、家畜保健衛生所、健康福祉センター、食肉衛生検査所、動物愛護指導センター、畜産酪農研究センター
P9c 掲載 警察行政 (464人(定数))	警察内の会計事務や情報管理、装備品の調達、鑑識業務、各種申請の受理審査業務等を行います。いずれも警察活動を推進する上で、重要な役割を担っています。	警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校
小中学校事務 (566人)	給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理を行います。学校運営を側面から支える仕事です。 ※小中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。	市町立小・中学校

職員紹介

4ページに掲載したとおり、県庁には様々な職種の職員がいて、多種多様な行政課題に取り組んでいます。

それでは県庁で活躍している職員を紹介します。具体的な業務内容をイメージする際の参考にしてください。

まず初めは、表紙のお二人の声です。

行政 宮崎 祐季

Yuki Miyazaki

経営管理部

栃木県税事務所

軽油引取税調査担当

平成24年度採用

異動経歴

H24～ 栃木県税事務所 管理課

H26～ 現所属



Fresher's Voice

新人職員に聞きました

化学 平山 大輔

Daisuke Hirayama

環境森林部

環境保全課

大気環境担当

平成25年度採用

異動経歴

H25～ 現所属



① 社会的な問題を解決する際に、行政の果たす役割が大きいことに魅力を感じました。大学時代、子どもの貧困問題など社会保障分野の勉強をしてきましたが、そこで感じたのは、取組を進めるNPO法人や企業を公的な枠組みで後押しすることの重要性でした。そのため、制度づくりや運営に携わりたいと思い、県職員を志望しました。

② 軽油引取税の課税業務を担当し、毎月提出される申告書の審査や軽油引取税に係る免税証の交付事務等を行っています。また、脱税を目的とした不正軽油の撲滅のため、事業所等に対する調査や道路等での自動車燃料採取調査も行っています。

③ 明るく、何でも相談しやすい雰囲気、協力して仕事ができる職場です。県民の皆さんと接する基本姿勢や受け答えから、法令の解釈まで丁寧に教えていただきました。また、担当内のメンバーでサポートし合うことで、円滑に業務を進めることができています。

④ 想像していた以上に県民の皆さんと直接接する機会が多いことに驚きました。現在は、窓口業務をはじめ、日常的に生の声を聞くことができています。現在の業務のみならず、今後、希望している社会保障分野の担当になったときにも、この経験は活かせると思います。

⑤ 県民の方に対して分かりやすく丁寧な説明を心掛けています。税務行政は難解な用語も多く、身近でない面もあるので、より一層の説明が求められますが、それが信頼につながると感じています。また、県民の皆さんの財産に影響を及ぼすこともあるなど責任が大きいので、法律に基づき適正・公平に進めることを意識しています。

⑥ 県職員は様々な分野の仕事に携わるので、その都度学ばなければならぬことが多いのですが、その分自らの成長につながると感じています。皆さんと一緒に成長しながら、栃木県のために働いていけたらと思います。



① 県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

② 現在の担当業務は？

③ 職場の雰囲気はどうですか。



④ 県庁に入る前と後でイメージは変わりましたか。

⑤ 仕事を進める上で心がけていることは何ですか。

⑥ 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

① 就職活動を始める際、「生まれ育った土地で、人の役に立てる仕事がしたい」と考えたことがきっかけです。栃木県職員なら、一生懸命仕事をするのが県民の生活をより良くすることにつながるため、前向きに仕事に取り組むことができると考えました。

② 大気環境の中でも、化学物質対策や公害対策に関する業務を担当しています。具体的には、工場で扱う化学物質の排出量等に関する届出、フロン類の回収に関する登録や届出の受理、指導等です。栃木県の美しい自然を将来にわたり守り続けるため、日々業務に取り組んでいます。

③ 温かく、落ち着いた雰囲気、非常に働きやすい職場です。入庁して間もない頃、右も左も分からない私に、上司の方が丁寧な指導をしてくださり、スムーズに業務を進めることができました。困難な仕事に直面した時も、周囲の方が支えてくださるので、安心して業務に取り組んでいます。

④ 技術職といっても、行政職のように一般事務にも携わりますし、県民と接する機会も多くあります。また、専門職としての内容も予想以上に多種多様だと感じました。

私は化学職で入庁しましたので、専門職として存分に力を発揮したいという思いもありますが、化学関係ばかりでなく、これから様々な仕事ができることが楽しみとなりました。きっと視野も広がりますし、自分自身の成長にもつながっていくと思います。

⑤ 人と人の関わりが大切だと考えていますので、何事に対しても、一つひとつ丁寧な対応を心掛けています。今後も、仕事を進める上でたくさんの人と関わることがあると思いますが、相手との信頼関係を築くことができるよう、誠意をもって仕事に取り組んでいきたいです。

⑥ 県の仕事は一つひとつが県民の生活につながっており、非常にやりがいのある仕事です。皆さんの力で、栃木県をより魅力的な県にしていきたいです。



ここからは、職種ごとに先輩職員を紹介します。

行政

川田 晃誉

Akiyoshi Kawata

環境森林部 地球温暖化対策課
計画推進担当
平成18年度採用

異動経歴

- H18～ 統計課 産業統計担当
- H21～ 日光土木事務所 管理部
- H22～ 日光土木事務所 保全部
- H24～ 日産自動車株式会社へ派遣
- H26～ 現所属



成長につながる得難い経験

現在の担当業務は？

県が自ら太陽光発電所を設置して売電収入を得るための事業を担当し、太陽光発電所の設置や運営に必要な入札の実施、工程管理、関係機関との調整を行っています。また、民間事業者による小水力発電所の設置が円滑に進むよう、地元住民の方々や関係機関との協議の場の立ち上げも行っています。

民間派遣時にはどんなことを？

日産自動車では、電気自動車普及促進のためのプロジェクトに携わるとともに、同社の一員として、第一線で、主に地方自治体に対する普及に向けた働きかけに携わりました。

県から日産自動車への派遣は私が初めてでしたが、県職員としてのバックグラウンドを持ちつつ、異なる環境や文化の中に身を置き、可能性を求めて新たな業務に挑戦することができました。困難も伴いましたが、得難い経験と、貴重な人間関係の構築に加え、県職員に求められていることや役割について考える機会もいただきました。

リフレッシュには何を？

週に一度、地元の先生に茶道を教えていただいています。日々の業務と離れた場所で自分と向き合い、学ぶことは刺激となり、人間関係も広がります。茶道を通して物事の意味、本質を考えることは、日本の伝統文化を再確認できるとともに、原点に立ち返るきっかけになるという意味で、仕事にも活かしています。

魅力ある栃木県をつくります

現在の担当業務は？

国や地方の行政施策の基礎資料になる「工業統計調査」「工業動態統計調査」を担当しています。県内製造業の現状をダイレクトに感じることのできる業務です。特に「工業統計調査」は県内の全ての製造業事業所が対象となる大規模調査で、その結果は県の経済状況を知る重要な指標の一つであり、注目度も高いものです。

どのようなときにやりがいを感じる？

公務員の業務というイメージがありますが、実際は、社会経済情勢の変化に対応するため、毎回実施内容や推進方法を見直すことが求められており、法令・予算・時間等制限の多くある中、より有意義な事業実施を心掛けなければなりません。難しい状況にある分、少しでも事業の成果が出ると本当にやりがいを感じます。

女性でも働きやすい？

子ども2人で育児休業を3年間、復職後は子どもが2歳になるまで毎日60分の育児休暇を取得しました。現在も子どもの病気のときには看護休暇を取得しています。夫婦ともに実家が遠方のため、実家の助けをあてにできない状況の中、県庁には様々な支援制度があるので助かっています。また、上司や同僚にも恵まれて、急な休暇時に仕事をカバーしてもらうなど本当に助けてもらっています。仕事、家庭ともにメリハリのある生活を楽しんでいます。



行政

藤原 仁香

Nika Fujiwara

県民生活部 統計課 産業統計担当
平成9年度採用

異動経歴

- H9～ 鹿沼農業高校
- H12～ 観光課 観光企画担当
- H15～ 水資源対策室 調査計画担当
- H18～ 工業振興課 技術振興担当
- H20～ 工業振興課 地域産業担当
- H25～ 現所属



行政

鈴木 高明

Takaaki Suzuki

経営管理部 財政課 予算担当
平成16年度採用

異動経歴

- H16～ 工業振興課 釧政担当
- H19～ 県北健康福祉センター 健康福祉課
- H22～ 総務省(自治税務局固定資産税課)へ派遣
- H24～ 現所属



やる気があれば何でもできる

現在の担当業務は？

県の予算編成等の業務に従事しています。予算編成は、主に11月から2月の間、全身全霊を捧げての作業となります。県財政の健全化という観点から、予算を要求する事業部局との調整は困難を極めますが、その分、やりがいもある誇り高い業務です。

これまでどのような業務を？

工業振興課では砂利採取法等に基づく許可事務や補助金の交付事務を、健康福祉センターでは障害のある方々への支援を、総務省派遣時には固定資産税・都市計画税制度の企画調整や地方財政計画の策定業務などを担当していました。特に総務省派遣時には、東日本大震災被災者の固定資産税減免措置の創設等にも携わり、被災地の調査、税制度の設計、国会答弁等を経て、地方税法の改定を進めていく作業に、行政の意義を強く再確認しました。

県職員の魅力は？

県職員の業務は多岐にわたります。私もこの10年で、産業、福祉、税、予算と、様々な経験をしています。この配属先が多様さによって思いもよらない世界を垣間見ることができます。私のように、知らない世界を見たいという好奇心旺盛な方にとって、とても魅力のある職業ではないでしょうか。

薬剤師

加藤 貴央

Takao Kato

保健福祉部 今市健康福祉センター 保健衛生課
平成15年度採用

異動経歴

H15～ 県北健康福祉センター 試験検査課
H19～ 保健環境センター 食品薬品部
H24～ 現所属



公衆衛生等の様々な分野で力を発揮!

現在の担当業務は?

旅館や公衆浴場、食品関連施設などに対して監視や指導、衛生講習会等を実施し、安全で安心して利用できるよう衛生水準の向上を図っており、本県を代表する観光地「日光」では、観光立県とちぎを衛生面で支える業務を担当しています。また、貴重な温泉資源が適切に利用されるよう、源泉の状況調査等も行っています。

どんなことに挑戦した?

管内のバイキング方式のレストランで、手洗いや調理器具の管理方法について現状を調査しました。同僚や営業者の協力で有益なデータを得ることができ、営業者が衛生管理を再考するきっかけとなりました。

また、検査機関では、新規の分析機器導入に伴い残留農薬検査法を立ち上げました。検討段階から様々な困難がありましたが、同僚の協力を得て、検査法が確立したときは感慨深いものがありました。

県の薬剤師の特徴は?

本県の薬剤師は、薬事、食品衛生、生活衛生、環境衛生等の様々な分野に配属され、行政分野や研究分野、医療分野に従事しています。多様な職場を経験でき、広い視野で課題と向き合えることが、民間薬剤師との違いだと思います。



農業

佐藤 純

Jun Sato

農政部 経営技術課 経営普及育成担当
平成19年度採用

異動経歴

H19～ 下都賀農業振興事務所 経営普及部野菜課
H22～ 生産振興課 いちご野菜担当
H24～ 農林水産省(生産局農産部技術普及課)へ派遣
H26～ 現所属



とちぎの農業を力強く成長させます!

現在の担当業務は?

農業の担い手育成のため、経営規模の拡大や高付加価値化に向けた機械・施設の整備を支援しています。また、耕作放棄地対策も担当しており、県外の講師を招いての研修会の企画や、関係者との各種会議での意見交換等を実施して耕作放棄地の解消を推進しています。

これまでにどんな業務を?

野菜の生産技術の向上・経営改善の支援や、加工・業務用野菜の生産振興等を担当しました。また、農林水産省派遣中は、普及指導員制度の運営や事業改革等に取り組みました。国や他県の方との人脈も築けたので、今後の業務に活かしたいと思っています。

県の農業職の魅力は?

農業の現場に近いことにやりがいを感じます。部署によっては直接農家に対して支援することもあります。その一方で、国に対して現場の意見を直接伝えることができるのも、県職員の魅力です。様々なノウハウのある民間企業とも協力しながら、栃木県全体をどう良くしていくか、幅広く考え、取り組むことができます。



畜産

前田 綾子

Ayako Maeta

農政部 畜産酪農研究センター 環境飼料部
平成15年度採用

異動経歴

H15～ 酪農試験場 酪農技術部
H19～ 那須農業振興事務所 経営普及部畜産課
H23～ 現所属



とちぎのおいしい畜産物生産を支える!

現在の担当業務は?

環境に優しい畜産経営を実現するため、特に臭気を抑制するための試験を担当しています。臭気問題に悩む農家に対し臭気低減技術の提案にも取り組んでいます。

また、福島第一原子力発電所の事故で発生した放射性セシウムに関する試験や家畜ふん尿のメタン発酵により発生したガスで発電するプラントの実証展示を担当しています。

県の畜産職の魅力は?

畜産農家の生産技術や経営技術の問題解決のために研究し、新しく開発した技術を農家に普及し利用してもらい、消費者の望む安全で安心な美味しい栃木の畜産物を届けていくことができる点です。特に、畜産酪農研究センターでは実際に牛や豚などの家畜を使って研究を行うことができ、その成果などについて、県内全ての畜産農家を対象に広く伝えることができる点は、県の畜産職の魅力だと思います。

リフレッシュにはどんなことを?

県庁スキークラブに所属して冬の休日はスキーをしているほか、農業関係職種有志が集まって、月に2回、体育館を借りてバスケットボールをしています。また、体力づくりにランニングをし、年に数回10キロ程度のマラソン大会にも出場しています。



林業

杉本 恵里子

Eriko Sugimoto

環境森林部 林業センター 研究部
平成17年度採用

異動経歴

H17～ 烏山林務事務所 森林環境課
H20～ 県東環境森林事務所 森づくり課
H23～ 現所属



とちぎの森の恵みで みんなを笑顔に

現在の担当業務は?

東日本大震災以降、栃木県では原木シタケを中心に国から一部出荷制限を受けています。その全面解除に向けて、安全なシタケの栽培方法について調査、研究を行っています。また、県産の特用林産物(きのこ類や樹実類、山菜類など、森林原野を起源とする生産物のうち一般の木材を除くもの)について、放射性物質モニタリング検査を行っています。きのこも放射能対策も初めての分野でしたが、先輩方に支えられ、日々新たな課題に向き合いながら業務に励んでいます。

県の林業職の魅力は?

出荷制限が解除され、シタケ生産を再開した生産者の方が嬉しそうに仕事をする姿を見た時、自分の仕事の喜びというものを感じ、生産者の方のご努力や関係者の方のご尽力に感謝の気持ちでいっぱいになりました。林業の分野は、治山工事の設計からきのこ栽培の指導・普及まで多岐にわたりますが、全て森林の保全につながっています。様々な立場からとちぎの森を見つめ、その恵みを次世代に伝えていく、実りの大きい仕事です。

リフレッシュにはどんなことを?

就職してから始めたヨガは、自分と向き合える大切な時間であり、現在も時間を見つけて継続しています。また、休日は山に登ったり、キャンプをしたり、自然の中で過ごす時間を楽しんでいます。



※平成24年度から「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分で採用試験を実施しています。

総合土木 (農業土木)

浅井 孔徳

Yoshinori Asai

農政部 農地整備課 調査計画担当
平成12年度採用

異動経歴

- H12～ 那須農業振興事務所 農村振興部計画課
- H16～ 塩谷農業振興事務所 農村振興部整備課
- H19～ 農村振興課 指導検査班
- H22～ 上都賀農業振興事務所 企画振興部
- H25～ 現所属



地域の魅力を活かした農業農村づくり

現在の担当業務は？

収益性の高い農業や活気ある農村の実現には、田畑や用排水路といった農業生産基盤を、農業者のニーズに沿って整備することが有効です。私は、地域で高まった整備要望を実現するため、国や関係部局と様々な検討、協議調整を重ねながら、農業振興事務所とともに農業農村整備事業の計画策定を行っています。

県職員の魅力は何ですか？

業務を通して、食を支える農家の誇りや意欲、美しい農村環境、大切に受け継がれてきた伝統文化など、様々な地域の魅力に出会えます。この魅力を農業農村整備に活かせたとき、良い仕事ができたと感じます。測量設計や工事施工そのものは民間にも活躍の場が多いでしょうが、地域営農の将来像などを住民の方々と話し合い、多方面に及ぶ協議調整を実施して農業農村整備を実現する仕事は、県職員ならではの醍醐味です。

プライベートではどんなことを？

学生時代に農業気象という分野を学んだことから天気のマカニズムに興味を持ち、最近になって気象予報士の資格を取得しました。この資格を通じて知り合った多種多様な人たちの交流を楽しんでいます。



建築

佐藤 浩之

Hiroyuki Sato

県土整備部 建築課 企画営繕担当
平成13年度採用

異動経歴

- H13～ 佐野土木事務所 建築指導担当
- H16～ 矢板土木事務所 建築指導担当
- H19～ 栃木土木事務所 建築部
- H22～ 宇都宮土木事務所 建築部
- H24～ 技術管理課 技術調整担当
- H26～ 現所属



とちぎの安全・安心なまちづくりを支えます！

現在の担当業務は？

県が整備する施設の設計・工事に関する基準類の運用や、大規模施設の設計に係るプロポーザル方式による設計者選定などの業務を行っています。また、県有施設の保全・長寿命化対策の業務にも携わっています。

今までにどんな業務を？

県の施設の新築や耐震改修等の設計・工事監理業務、建築確認の審査、既存施設の防災指導、建築相談など様々な業務に携わってきました。特に、東日本大震災で被害を受けた県立高校等の復旧業務に従事しましたが、大変な状況の中、関係機関の方も含め、一致団結して現地調査や設計などに取り組み、早期復旧することができました。

仕事をする上で心がけていることは？

県の施設の整備を進めていく過程では、県民や関係機関と調整する機会が多くあります。幅広い知識や経験はもちろんのこと、コミュニケーション能力など、人的魅力も必要です。また、自分の言動が県の言動として捉えられることから、住民説明会や会議等の際には、公正性・公平性の確保を念頭に置いて、発言するよう心掛けています。



総合土木 (土木)

荒川 裕利

Hirotooshi Arakawa

県土整備部 宇都宮土木事務所 整備第一課
平成15年度採用

異動経歴

- H15～ 日光土木事務所 道路部
- H18～ 鹿沼土木事務所 河川砂防部
- H21～ 国土交通省(河川局河川計画課)へ派遣
- H22～ 河川課 企画治水担当
- H25～ 現所属



すべては栃木の「人」と「未来」のために！

現在の担当業務は？

新たなバイパス道路の整備や通学路等への歩道設置、また、河川改修や砂防施設の整備を行う各事業について、関係者との調整や調査設計、さらには工事発注や現場監督などの業務を幅広く担当しています。また、大雨などにより道路や河川、砂防施設等が被災した場合の災害復旧業務も担当しています。

やりがいを感じる時は？

県の仕事はどんな仕事であってもやりがいがあると思います。一つひとつの仕事が県民のためになり、栃木県の発展につながりますから。その中でも特に土木職の私としては、新たな橋やバイパスが完成した時の達成感がたまりません。職員はもちろん、地元をはじめ多くの関係者の努力により、長い月日をかけて完成する土木施設には、それぞれに夢や物語が秘められています。

プライベートではどんなことを？

現在、妻と息子2人と両親の6人暮らしをしていますが、私生活と仕事のバランスを自分なりに取りながら、育児や趣味も楽しんでいます。有給休暇を活用して子供の保育行事に参加できるのも県職員の魅力でしょうか。休日には独身時代からの趣味であるスキーや登山なども続けており、私生活も充実しています。



電気

小林 純

Jun Kobayashi

企業局 電気課 施設担当
平成17年度採用

異動経歴

- H17～ 今市発電管理事務所 施設第一課
- H20～ 鬼怒水道事務所 管理課
- H23～ 今市発電管理事務所 板室管理支所
- H26～ 現所属



ライフラインの仕事で県民生活を支えます！

現在の担当業務は？

水力発電の新規開発を担当しています。発電所建設のために、技術面や経済性の検討、各関係機関との調整を行っています。東日本大震災以降、国の電力需給が逼迫している中、クリーンエネルギーである水力発電を開発することで、電力不足の改善に貢献していきます。

今までにどんな業務を？

発電管理事務所では水力発電所の巡視、点検、工事監督業務を、水道事務所では水道用水を作るために必要な機械や制御装置の保守管理、工事監督業務を行いました。これらの事務所では、故障が発生した際に、まずは自分達で原因を追究し、直せそうなのは自分達で直します。みんなで協力して問題を解決したときには、何とも言えない達成感があります。

仕事をする上で心がけていることは？

東日本大震災の際には改めて電気、水の大切さを感じました。ライフラインの仕事に携わる一職員として、安全・安心を確保しながら安定的に電気や水を供給できるよう、使命感を持ちながら業務に励んでいます。



心理

横地 さやか

Sayaka Yokochi

保健福祉部 とちぎリハビリテーションセンター
通園療育課
平成14年度採用

異動経歴

H14～ 中央児童相談所 判定指導課
H17～ 県南児童相談所 判定指導課
H20～ 県北児童相談所 判定指導課
H26～ 現所属



県民の皆様の「こころ」に寄り添うお仕事です

現在の担当業務は？

身体障害や発達障害のあるお子さんとその保護者の通園療育に携っており、お子さんの個別療育や、保護者の方からの様々な相談に応じています。対象が未就学児のお子さんであるため、その後の集団生活にスムーズにつなげていくことも大切な役目です。

今までにどんな業務を？

児童相談所では、子どもや保護者からの相談を受けたり、児童の心理判定、施設入所した子どものメンタルケア等を行っていました。児童福祉司としてケースワーク業務に携わっていたこともあります。県の心理職は様々な領域での仕事を求められます。配属先によって対象も求められる役割も違うので大変だと感じることはありますが、オールラウンドな臨床家になれるチャンスでもあります。

どんなことにやりがいを感じる？

言葉が出なかった子が少しずつ話せるようになったり、泣いてばかりだった子が笑顔で遊べるようになったり、そうした小さな変化を日々目の当たりにできることです。何より保護者が我が子の成長を喜ぶ姿に、同じ子を持つ親として感慨深さを抱かずにはられません。



保健師

渡邊 麻衣

Mai Watanabe

保健福祉部 県東健康福祉センター 健康支援課
平成15年度採用

異動経歴

H15～ 県北健康福祉センター 健康対策課
H18～ 健康増進課 疾病対策担当
H20～ 現所属



とちぎの元気を支えたい！

現在の担当業務は？

精神保健福祉担当として、当事者や家族等に寄り添い支援しています。また、広域的な視点を持ち、誰もが自分らしく暮らせる地域を目指して、関係機関と連携しながら地域課題にも取り組んでいます。ほかにも、県民や支援者向けの講演会などを開催し、精神保健福祉の向上と支援体制整備に力を入れています。

印象に残っていることは？

新潟県中越地震の際に現地へ派遣され、住民の健康状態を確認する業務に従事しました。不安を抱えておられる方々と向き合った経験から、日頃から「災害に備えて保健師として何が出来るか？」を考えるようになりました。人々が自ら健康を守り、更に健康度を高めるために、公衆衛生の向上の一翼を担い、専門的な視点を持って能力を発揮できるのは行政保健師ならではの仕事だと思います。

どんなところにやりがいを感じる？

はじめは相談を遠慮していても、「あなたを信頼しているから相談するね…」と相談してくださった方がいらっしゃいました。相談業務に従事する保健師として、信頼される職員であることの重要性を再確認しました。相談事例の背景は全て異なり、支援方法も様々です。対応の難しいケースもありますが、経験の積み重ねや多くの人々との出会いを経て自己成長できることも大きな魅力であると感じています。



警察行政

東 佳澄美

Kasumi Azuma

警察本部 警務部 厚生課
平成18年度採用

異動経歴

H18～ 小山警察署 会計係
H19～ 刑事部 捜査第二課
H21～ 警務部 警務課
H24～ 現所属



とちぎの治安を守る

現在の担当業務は？

厚生課では、福利厚生、健康管理、悩みごと相談窓口など、職員が安心して業務に取り組める環境づくりをしています。その中で私は、職員一人ひとりに対して、家族状況などに見合った生活設計のアドバイスを行っています。特に、年金制度は大変複雑なので、自分なりに工夫してわかりやすく伝えることを心がけています。

今までどんな業務を担当？

警察署では落とし物の係を、捜査二課では庶務係として課員の給与支給を、警務課では人事係として採用を担当しました。特に、人事係当時、一人でも多くの学生に警察官を受験してもらおうと全国の大学や県内の高校に働きかけて、警察官採用説明会を開催し、警察官の魅力とやりがいを説明するなど、受験者数のアップにチャレンジしてきたことが印象に残っています。異動によりいろいろな分野を経験し、たくさんの人との素晴らしい出会いがありました。

リフレッシュには何を？

2～3年前に職場のレクリエーションで初めて観たミュージカルに感激してしまい、今では年に2～3回は劇場に通うようになりました。夢の世界で心身共にリフレッシュして、毎日エネルギーに頑張っています。



インターンシップ……県の仕事を体験



栃木県では、学生のインターンシップ受入れを行っています。平成26年度は行政職向け11所属、技術職向け32所属で募集を行いました。

インターンシップでは、データ集計や資料作成、会議の準備や現地調査など、所属によって様々なメニューが用意されています。

県庁を身近に感じ県の仕事を理解するのに、またとない機会です。

参加申込みは在籍する教育機関を通じて受け付けます。実習テーマ、期間、募集する学生の専攻分野など、詳しくは経営管理部人事課のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/b02/pref/zaiseijinji/jinji/internship-bosyu.html>

平成26年度受入所属(行政職向け・技術職向け)

○総合政策部	地域振興課
○経営管理部	文書学事課、管財課
○県民生活部	くらし安全安心課
○環境森林部	環境森林政策課、廃棄物対策課、林業センター
○保健福祉部	こども政策課、健康福祉センター、動物愛護指導センター、食肉衛生検査所
○産業労働観光部	産業政策課、労働政策課、産業技術センター、県央産業技術専門学校
○農政部	農村振興課、農業試験場、水産試験場、家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター
○県土整備部	監理課、交通政策課、河川課、都市計画課、都市整備課、建築課、土木事務所、下水道管理事務所、公園事務所
○企業局	電気課
○教育委員会事務局	文化財課

平成26年度行政職向けインターンシップの例

日	午前	午後
初日	オリエンテーション/県政講義	所属実習
第2日	所属実習	所属実習
第3日	所属実習	所属実習/先輩との交流会
第4日	所属実習	所属実習
最終日	所属実習	報告会

平成26年度参加者の感想

- 毎日させていただく実習が新鮮で、周りの方も良くしてくれたため、楽しみながら勉強させていただくことができました。(行政職向け参加者)
- 圃場や研究室での実習を通して、農業職の仕事の楽しさや大変さが分かりました。また、農家と接するにあたっての責任感や心構えも勉強できました。(技術職向け参加者)
- 県民の方の意見を反映した多自然川づくり、愛リバー事業や災害時の対応を見て、職員の方々が一体となって、県の河川・県民の命を守っていることを知りました。(技術職向け参加者)

※インターンシップ参加の有無は、採用試験の可否には一切関係がありません。

実習期間と採用試験の日程が重なる場合、インターンシップに参加することはできませんので、申込みの際は日程を御確認ください。

研修制度……入庁後のスキルアップ

県職員には高度の専門性や様々なスキルが要求されますが、それらを養成する研修が充実しています。

栃木県(教育部門及び警察部門を除いた一般部門)では、自己啓発支援、職場研修、研修所研修、派遣研修の4本柱により職員研修を実施しています。

1 自己啓発支援

県行政に関連する事項について自主的に研究を行う職員のグループに対し、研究活動に要する経費の一部を助成するなど、職員の自己啓発に対して支援を行っています。また、指定通信教育機関が実施する通信教育を団体割引価格で受講することができる制度や、自治大学校がインターネット上に開設した講座をオンラインで受講することにより、地方自治制度や地方税財政制度について習得することができるe-ラーニング研修も用意されています。

2 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で実務に携わりながら、事務処理のスキルを身につけていくことになります。また、県は所管する法令・制度が多岐にわたっているため、それぞれの部局等において、所掌する事務に係る研修を実施しています。

3 研修所研修

自分の職場を離れ、受講者が本庁舎北側の研修館等に集まって受講する研修です。大きく、必修研修と特別研修に分けられます。

○必修研修 新採用職員研修などの基本研修と、各階層に期待される能力を昇任前に開発することを目的とした能力開発研修があります。このうち、新採用職員については、4月に10日間の前期研修、9月に3日間の後期研修が実施されます。研修では、様々な職種の採用職員が一堂に集い、知事講話や先輩職員との意見交換を始め、県行政に関する講義、ビジネスマナー等、様々なメニューを通して、県職員としての基本的な知識・スキルを習得します。宿泊研修やグループワークを通して、同期入庁者とのパイプを太くできることも研修の効果として期待されています。

○特別研修 政策形成能力の向上をめざし、マーケティング手法や政策法務についての能力を養成する政策形成能力向上講座等を開講しています。

4 派遣研修

中央省庁における政策形成に関する業務や民間企業の経営感覚にもとづく事業展開など、県内部では体験できない業務に従事することにより能力の開発を図る研修です。中央省庁派遣研修、民間企業等派遣研修、県外自治体派遣研修、県内市町村派遣研修があり、いずれも職員公募制により派遣希望者を募集しています。(職員公募制については、14ページ参照)



「Leader's Voice」

幹部職員に聞きました

県民生活部次長兼県民文化課長

黒田 葉子

Yoko Kuroda

経歴 昭和53年度入庁。総務部(現:経営管理部)文書学事課からスタートし、企画部(現:総合政策部)、林務部(現:環境森林部)、教育委員会事務局など複数の部局を歴任。平成23年度に県民生活部県民文化課県民協働推進室長、平成24年度から同部くらし安全安心課長、平成26年度から現職。趣味は、手芸や料理、語学学習など。

人事委員会事務局長

角田 孝之

Takayuki Kakuta

経歴 昭和52年度入庁。総務部(現:経営管理部)人事課からスタートし、保健福祉部や農務部(現:農政部)など複数の部局を歴任。平成20年度から保健福祉部障害福祉課長、平成22年度から環境森林部次長兼環境森林政策課長、平成24年度に県民生活部次長兼県民文化課長、平成25年度から現職。趣味は、楽器演奏など。

初歩的な仕事こそ大切に。

角田 黒田さんは私より1年後の昭和53年の入庁ですね。当時の就職状況は覚えてますか。

黒田 当時の就職状況は厳しく、私は運良く採用試験に合格できましたが、行政職の合格者のうち、女性の占める割合は1割にも満たず、同期で入った女性はたった7名でした。

角田 最近の行政職(大学卒業程度)の女性合格者の割合は30%台で推移していて、平成25年度の採用試験では40%を超えました。時代とともに、女性の活躍がどんどん期待されているところですね。

ところで、県職員に採用されて最初のひと月は新採用職員の前期研修(現在は約10日間、P10参照。)がありました。新採用職員研修は、県職員の第一歩として緊張もしましたが、職種も年齢も異なる同期の仲間が一堂に会するので、とても楽しかった思いがあります。黒田さんは何か思い出はありますか?

黒田 あれからもう30年以上が経ちますね。当時の研修所の所長だったYさん。大変気骨のある方で、私たち新採用職員に対して、県職員としての心構えや人生哲学を独特の口調で熱く語ってくれました。特に印象に残っているのは「つまらない仕事と嘆くな。つまらない仕事のできない者に、つまる仕事ができるか。」とおっしゃったこと。「新採用職員には、最初は初歩的な仕事や雑用もまわってくるけど、そうした仕事も嫌がらずにやりなさい。将来、一人前の仕事ができるようになるためには、初歩的な仕事も苦にせずきちんとやることが大切です。」といった意味が込められていたと思います。実際、私も後日、この言葉を身に染みて感じたものです。

基本を押さえる初歩的な仕事こそ重要な仕事への第一歩。Y所長の言葉は、自分の職業観の原点になっています。

角田 行政職は特に人事異動でいろいろな部署を経験しますよね。中堅以上の職員ともなると、新しい職場に配属されてすぐに即戦力が求められることもあります。このとき、いかに冷静で確かな判断ができるか。それは、新人の頃からの基礎的な仕事の積み重ねによるのかも知れませんね。

人との出会いがあるから、今の自分がある。

角田 私たちが20代だった頃、黒田さんはとても奥ゆかしい印象がありました。それが今ではとても積極的、活動的です。何がきっかけで、ギアを入れ替えたのでしょうか。

黒田 私は今でも奥ゆかしいですよ!(笑)でも、おっしゃるとおり、私は元々人見知りで、引っ込み思案でした。そんな自分が変わったのは、活動的な友達と夫からの影響でしょうか。

入庁してから知り合った友達は、みんな大らかで社交的。仕事以外にプライベートでも仲間が集まって一緒に過ごすうちに、どんどん影響

を受けていきました。そして、就職して5年目に結婚したこと。何気ない日常を送る中で、周りのものの見方が広がったという感がありました。友達や夫が、私の中に隠れていた積極性を引き出してくれたのかな。

角田 職員としての自分に「転機が訪れた」という時期はありましたか?

黒田 ありました。30代半ばの頃ですね。

入庁した当初から20代は基礎的な仕事をコツコツとこなしている状況でした。当時の職場環境は、庶務的な仕事に従事するのは女性職員の役割という雰囲気もありました。また私も、女性職員の果たすべき役割を考えるとといった意識はまだまだ低く、特に疑問を持っていなかったと思います。

そして、年号が平成に変わった頃、「自然環境課」に配属となり、初めて政策的な仕事に携わることになりました。担当業務は、自然公園法に基づく許認可や日光地域の活性化事業など、未経験の業務ばかり。当時の私はがむしゃらに走りながら考えているような状況でした。そこで出会ったのが、見識のある人間性豊かな上司や同僚でした。

角田 上司からはどのような薫陶を受けられましたか?

黒田 一つは、「許認可事務は、針の穴を通すくらいの緻密さでやる」ということ。未経験の仕事は不安ばかりでしたが、上司がどんと構えて見守ってくれ、的確なアドバイスをいただいたおかげで、困難なことにも思い切って取り組めるようになりました。

そしてもう一つは「仕事の上では男も女もない」ということ。当時の上司は、職員の育成意識が高かったこともあり、様々な経験を積ませてくれました。雪の降る日光地区の現場に何度も足を運び、関係団体や住民との調整に走り回ったことは、とても貴重な経験となり、今でも鮮明な記憶として残っています。

角田 とても素敵な巡り会いでしたね。

黒田 仕事や生き方に対して高い意識付けをしてくれる上司がいたからこそ、このような経験の中から、女性も男性と同様に仕事と向き合うという気構えを教えられたように思います。一方で、しばしば仕事で上司と口論になることもありました。今見れば穴だらけの仕事ぶりだったと思いますが、そんな未熟な私を受け止めてくれた上司の皆様には、本当に感謝しています。

角田 黒田さんが、上司と口論できるくらいに大きく変わったわけですね。

黒田 部下が上司に言いたいことが言える、そんな風通しの良い職場環境も良かったのでしょうか。

仕事?むしろ、プラスアルファが面白い。

角田 さて、今、「風通しの良い職場環境」という言葉が出ました。どんな職場でしたか?

黒田 当時の上司は多忙な業務の合間を縫って、「明るく楽しい職場

にしよう」と職員に働きかけてくる方でした。野球やゴルフ、スキー、カラオケと、部内のレクリエーションも盛んで、活気があって。遊びでも仕事でも、庁内でもひととき元気な職場だったかもしれません。風通しがよく、チームワークも抜群で、職員が生き生きと仕事ができる職場でした。

角田 仕事以外も充実している職場環境って良いですね。組織の活性化にも欠かせないことだと思います。

黒田 上司がそのような環境を作ってくれたおかげで、仕事だけでなく、プラスアルファが面白いということを知りました。

角田 さて、先見性を持つ上司に指導を受け、黒田さんが自ら周りをリードしていくという意識を持つようになったのは、いつ頃ですか？

黒田 40代半ばで、副主幹(←P14 Q10を参照)になった頃です。

自分がその職位に見合っただけの仕事ができているのか、組織の中で自分の役割をきちんと果たしているのだろうか、といういろいろ悩んでいました。

角田 そんなとき、黒田さんはどのようにして乗り切ってこられたのですか？

黒田 まずは原点に戻ること。頭の中を白紙にして、基本に戻って、頭を柔らかくして、時にはまったく別の角度から考えていると、ふと意外なアイデアがひらめくこともありました。

角田 頭を柔らかくして良い成果を出す。仕事ばかりでなく、趣味や遊び心があると、思わぬところで新しいアイデアが湧くことってありますよね。

黒田 私は決して仕事第一の人間ではないので、遊びの時間を作りたいのです。絵を描いたり、手芸をしたり、料理をしたりと、手先を動かすことが大好きで、暇さえあれば手作りのものを作っています。そこで、仕事で使うパンフレットにイラストを描き加えてみたら、思いの外わかりやすくなって評判が良かったり。先日は、仲間と一緒に拾い集めたとちの実に栃木県のマスコット「とちまるくん」をペイントして県外からのお客様さまに渡したら、とても喜ばれました。

角田 趣味を仕事にも活かしているということでしょうか。

黒田 これまでの仕事を通して、県職員以外の方々とも多くの出会いがありました。業種や世代も異なり、時には外国の方もいました。職員になっていなければ出会うことのなかった方々とのネットワークが、自分の知識や活動の幅を広げてくれています。

角田 県の仕事は、多くの皆さんとの交流などプラスアルファの楽しみももたらしてくれるということですね。

若い職員への恩返し。それが私の役目。

角田 黒田さんは、女性の管理職として活躍していますが、県の女性職員に対してはどんな印象をお持ちですか？

黒田 県の職場は、男女差をあまり意識することなく仕事ができることろだと思います。以前から女性の登用や男女共同参画の推進、そのた



めの環境整備が進められていて、職員自身の意識も高い。女性職員が男性と同じように仕事に打ち込んでいる姿はとても頼もしく感じます。男性だから、女性だからということではなく、共に栃木県を良くしていこうという気持ちが伝わってきます。

角田 黒田さんから新人職員に対して伝えたいことはありますか？

黒田 若い職員は、自分の考えをきちんと持っていて、意見もはっきり言えるし、将来のこともよく考えています。私が若かった時代よりもずっとしっかりしているので、大いに期待しています。様々な職場で多くの経験を積んでもらいたいものです。

角田 県の仕事って、ある意味「冒険」みたいなところがありますよね。数年ごとに違う職場に配属されると、全く新しい仕事を始める感覚にもなりますから、新鮮で面白いところもありますね。

黒田 ええ。県の仕事はとても幅が広く、特に行政職は様々な分野を経験するので、視野が広がり、仕事を通じて貴重な出会いもあり、ひいては人生が豊かになります。仕事に対しては、現場を重視し、県民の目線で一つひとつの仕事を大切に、自分の仕事に誇りと愛着を持って取り組んで欲しいと思います。

また、仕事以外の楽しみの時間をたくさん持ち、個人の生活を充実させることがリフレッシュにもなり、いろいろな視点でものが見られるようになると思います。

角田 では、最後に、黒田さんは管理職として今後どのように取り組んでいきたいと考えていますか？

黒田 行政は人が行う仕事なので、一人ひとりの職員が自分自身を磨き、生き生きと仕事ができることが重要です。仕事は「明るく、楽しく、元気に、仲良く、一生懸命に、思う存分に。」をモットーに、風通しの良い職場環境をつくる。職員に対しては、その人が持っている能力を引き出してキャリアアップの後押しをする。私がこれまで上司にしてもらったことを、今度は私が職員にやってあげられたらと思います。

※黒田さんの作品の例



県庁の人事制度 Q&A

Q1 給与について教えてください

A 初任給は、右の表のとおりとなっています(平成26年4月現在)。
勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、勤務経験年数や学歴に応じて、一定の基準により加算されます。
要件に応じて、**扶養手当、地域手当、通勤手当、超過勤務手当**などが支給されます。また、民間のボーナスにあたるものとして、**期末・勤勉手当**が6月と12月の年2回、合計で3.95ヵ月分支給されます(在職期間等によって異なります。)
原則として年に1回、勤務成績に応じて**昇給**があります。

修士課程修了者	研究職	212,900円
	医療職(2)	197,600円
6年制大学卒	医療職(2)	204,000円
4年制大学卒	行政職	178,800円
	研究職	194,800円
短大卒	医療職(2)	184,500円
	行政職	155,700円
高校卒	行政職	144,500円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用

Q2 勤務時間はどうなっていますか

A 勤務は原則として、午前8時30分から午後5時15分までで、正午から午後1時までが休憩時間となっており、1日の勤務時間は7時間45分です。職員のワーク・ライフ・バランスの確保や通勤混雑の緩和、環境負荷の低減等を目的とした**オフピーク通勤**(時差出勤)を選択することもできます(一部の職場を除く)。
完全週休2日制となっており、一部の施設等に勤務する職員等を除いて、土曜日と日曜日は週休日となっています。

Q3 休暇は何日取れますか

A 次のような休暇が設けられています。

- 年次休暇** 年度ごとに20日が付与されます。1時間単位で取得することも可能です。一般部門(教育部門及び警察部門以外の所属。以下同じ。)における平均取得日数は、10.6日(平成25年度)です。
- 傷病休暇** けがや病気のため勤務できない場合に取得することができます。一般的なけがや病気の場合、上限は90日です。
- 特別休暇** 次のような特別の事由により勤務しないことが相当と認められる場合に取得できます。
[ボランティア活動、結婚、出産、妻の出産、子の養育、夏季]
- 介護休暇** 要介護者を介護する場合に取得できます。

Q4 育児を行いながら仕事を続けられますか

A 率先して少子化対策を進める観点から、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。
産前産後休暇(産前産後それぞれ8週間以内)、**育児休業**(子が3歳に達する日まで)のほかにも、**育児のための部分休業**(小学校就学前、1日2時間以内)や**短時間勤務制度**(小学校就学前、希望する日及び時間帯において短時間勤務)などがあります。
また、男性職員の育児参加を促進するための「**男性職員の育児参加プログラム制度**」などもあります。
平成25年度の一般部門における育児休業の取得率(その年度に取得可能となった職員のうち実際に取得した職員の割合)は、女性職員は100.0%、男性職員は残念ながら0%でしたが、平成26年度には2名の男性職員が育児休業を取得しています。

Q5 福利厚生は充実していますか

A 地方職員共済組合が、短期給付(健康保険)と長期給付(年金)のほか、次のような事業を実施しています。

- 健康管理事業**
定期健康診断、人間ドック、脳ドック、心の健康相談、歯の健康相談、禁煙サポート対策事業などを実施しています。
- 元気回復事業**
各種スポーツ大会、宿泊利用助成、サークル運営助成などを行っています。
- 貸付事業**
住宅貸付(住宅購入等)、普通貸付(生活用品の購入等)、災害貸付(災害復旧)、特別貸付(入学、結婚、葬祭等)などの資金の貸付を行っています。

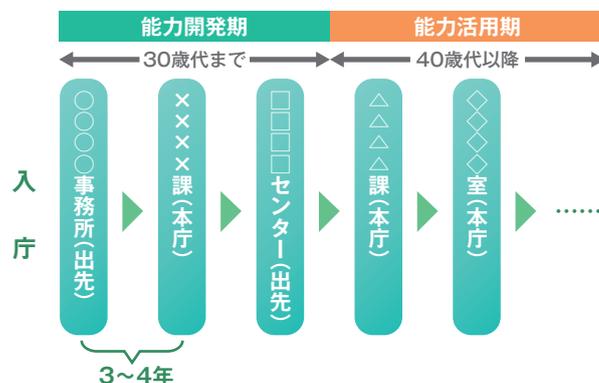
公務災害に認定された場合には、様々な補償が受けられます。
家族で入居する職員住宅のほか、独身の方でも入居可能な職員住宅もあります。
このほか、地域ごとに組織された福利厚生協議会が、様々なレクリエーション事業を実施しています。

Q6 配属先はどのように決められますか

A 配属先は、職種（行政職・技術職）や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。

Q7 異動はありますか

A 職種による違いがありますが、行政職の場合、おおよそ3年から4年のサイクルで異動があります。30歳代までは能力開発期として、幅広い能力開発や自己の適性の発見ができるように、本庁・出先機関で異なる分野を経験できるように異動します。40歳代以降は能力活用期とし、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視して、能力を最大限発揮できるように配置されます。



Q8 中央省庁や民間企業へ派遣されることもありますか

A 中央省庁における政策形成に関する業務や民間企業の経営感覚にもとづく事業展開など、県内部では体験できない業務に従事することにより能力の開発を図ることを目的とした研修を実施しています。中央省庁派遣研修、民間企業等派遣研修、県外自治体派遣研修、県内市町村派遣研修があり、いずれも職員公募制（業務選択型職員公募制度）により派遣希望者を募集しています。

平成26年度における職員の主な派遣先は、次のとおりです。

- 総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、環境省
- 全国知事会、新潟県
- (株)足利銀行、サントリーピア&スピリッツ(株)、東日本旅客鉄道(株)、日産自動車(株)、東京海上日動火災保険(株)
- 県内9市町

Q9 異動の希望は聞いてもらえるのですか

A 毎年1回、希望する職場や職務内容を所定の様式に記入して所属長に提出し、その内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについて所属長からアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。

また、重要な政策課題や県民サービスの向上につながる政策課題等において、職員公募制を実施しています。

職員公募制は、職員の意欲と能力を最大限に発揮できる機会を確保するため、従来の枠組みを超えた政策を提案した職員を、その提案に関連する業務のポストに登用する政策提案型職員公募制度と、県が直面する重要な政策課題において職員を公募し、応募者の中から適任者を登用する業務選択型職員公募制度の2種類があります。

平成26年度は、業務選択型職員公募制度により、次の業務の担当者を公募しました。

- 中央省庁派遣（総務省）、民間企業等派遣（東京海上日動火災保険等）、県内市町村派遣、ICT推進（電子県庁の実現）、県民協働推進（NPO、ボランティアとの総合調整）、児童虐待防止、財務会計事務検査、監査

Q10 どのように昇任するのですか

A 昇任は、職員の能力や勤務成績、経験年数を総合的に評価して行われます。行政職も技術職も基本的には同様です。



栃木県職員等過去5年間の募集状況 (平成22~26年度)

【大学卒業程度】

職種	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
行政	55名程度	45名程度	55名程度	60名程度	65名程度
薬剤師	4名程度	4名程度	5名程度	3名程度	5名程度
化学	3名程度	3名程度	5名程度	5名程度	5名程度
農業	1~2名	1~2名	1~2名	8名程度	8名程度
畜産	—	1~2名	1~2名	1~2名	3名程度
林業	1~2名	1~2名	1~2名	7名程度	6名程度
土木	8名程度	8名程度	—	—	—
総合土木	—	—	18名程度	30名程度	28名程度
建築	5名程度	3名程度	4名程度	4名程度	5名程度
電気	3名程度	4名程度	1~2名	1~2名	3名程度
機械	1~2名	3名程度	1~2名	3名程度	1~2名
心理	1~2名	3名程度	1~2名	1~2名	1~2名
水産	1~2名	1~2名	—	—	1~2名
警察行政	10名程度	7名程度	15名程度	15名程度	8名程度
小中学校事務	8名程度	17名程度	18名程度	13名程度	21名程度

【高校卒業程度】

職種	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
行政	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
建築(警察本部)	—	—	—	—	1~2名
警察行政	10名程度	1~2名	3名程度	8名程度	4名程度
小中学校事務	5名程度	7名程度	6名程度	4名程度	6名程度

【資格・免許職】

職種	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
保健師(知事部局)	3名程度	6名程度	8名程度	3名程度	3名程度
保健師(警察本部)	—	—	—	—	1~2名
臨床検査技師	3名程度	3名程度	1~2名	1~2名	—
診療放射線技師	1~2名	1~2名	—	—	1~2名
理学療法士	—	1~2名	1~2名	—	—
作業療法士	1~2名	1~2名	—	1~2名	1~2名
管理栄養士	1~2名	—	1~2名	—	—
栄養士(県立学校)	—	—	—	—	—
栄養士(小中学校)	5名程度	10名程度	5名程度	1~2名	1~2名
司書	—	—	1~2名	—	—
保育士	3名程度	1~2名	1~2名	1~2名	3名程度

【社会人対象】

職種	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合土木	—	—	—	5名程度	5名程度
建築	—	—	—	1~2名	1~2名

【選考考査】

職種	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
言語聴覚士	—	—	—	—	1~2名
精神保健福祉士	—	—	—	—	1名
職業訓練指導員	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
獣医師	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	7名程度
学芸員(民俗学)	—	1名	—	—	—
学芸員(日本画)	—	—	—	—	1名
博物館資料専門員(昆虫)	1名	—	—	—	—
博物館資料専門員(古生物学)	—	—	—	1名	—
航空整備士(回転翼航空機)	—	—	—	—	1名
犯罪鑑識技術者(法医)	—	1名	—	—	1名
犯罪鑑識技術者(物理)	1名	—	—	—	—
犯罪鑑識技術者(化学)	—	—	—	1名	—
心理カウンセラー	—	1名	—	—	—
少年補導職員	—	—	—	—	1名
行政(身体障害者対象)	4名程度	4名程度	5名程度	6名程度	6名程度
警察行政(身体障害者対象)	—	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
小中学校事務(身体障害者対象)	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名

この表に記載のない次の職種については、
各担当課にお問い合わせください。

●看護師 栃木県保健福祉部医療政策課 TEL 028-623-3158
●児童自立支援専門員 栃木県保健福祉部保健福祉課 TEL 028-623-3088

平成26年度栃木県職員等採用試験・ 選考考査実施状況

【大学卒業程度】

職種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行政	690	524	196	70	7.5
薬剤師	9	8	7	5	1.6
化学	54	40	15	5	8.0
農業	46	44	24	10	4.4
畜産	12	8	5	3	2.7
林業	30	21	12	6	3.5
総合土木	60	44	33	27	1.6
建築	16	13	8	5	2.6
電気	29	19	9	3	6.3
機械	22	18	5	1	18.0
心理	22	18	9	3	6.0
水産	12	8	4	1	8.0
警察行政	112	92	25	8	11.5
小中学校事務	317	253	69	21	12.0

【高校卒業程度】

職種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行政	76	72	15	5	14.4
建築(警察本部)	5	4	2	1	4.0
警察行政	62	60	12	4	15.0
小中学校事務	53	51	18	6	8.5

【資格・免許職】

職種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
保健師(知事部局)	25	24	9	3	8.0
保健師(警察本部)	10	9	5	1	9.0
診療放射線技師	6	5	2	1	5.0
作業療法士	3	2	2	2	1.0
管理栄養士	29	27	5	1	27.0
栄養士(小中学校)	27	23	5	1	23.0
保育士	22	19	9	3	6.3

【社会人対象】

職種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
総合土木	17	15	8	6	2.5
建築	2	2	2	1	2.0

【選考考査】

職種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
職業訓練指導員	6	4	4	2	2.0
獣医師	12	7	7	5	1.4
犯罪鑑識技術者(法医)	27	21	5	1	21.0
少年補導職員	3	3	2	1	3.0
言語聴覚士	5	5	5	1	5.0
精神保健福祉士	5	4	2	1	4.0
学芸員(専門分野:日本画)	19	10	5	1	10.0
航空整備士(回転翼航空機)	0	—	—	—	—
行政(身体障害者対象)	11	11	7	6	1.8
警察行政(身体障害者対象)	4	4	1	0	—
小中学校事務(身体障害者対象)	3	3	2	0	—

栃木県人事委員会のホームページでは、次のような情報を掲載しています。
是非、アクセスしてみてください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/top.html>

栃木県職員採用

検索



主な掲載情報

説明会案内、試験日程、試験案内・申込書、合格者番号・試験実施結果、
採用Q&A、試験問題の例題、インターネット申込み